

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年9月7日公開
南アフリカ・ケープタウンより

(日本時間9月7日午後2時～南アフリカ時間9月7日午前7時～)

無断転載禁止

.....

皆さん、シャローム！南アフリカのケープタウンより、おはようございます。私がここで過ごすのは、今日が最後です。あと2時間で空港に向かい、家に帰ります。家に帰ったら、愛する息子が軍から戻っているので会えるのです。それから、家族全員と、教会の皆とともに、ラツパの祭りを祝います。お祝いはエルサレム周辺で行われ、そこで私達は共に交わり、祈り、神の御言葉を学びます。それとももちろん、休息も重要です。その後、アメリカ合衆国に行って、非常に過密なミニストリーツアーが待っていますから。南カリフォルニアから始まって、アイダホ、最後にミネソタです。

では、お祈りから始めて、その後、中東時事アップデートに入りましょう。

お父様、あなたに感謝します。

この南アフリカでの時間、あなたが私を守り支えてくださり、このミニストリーツアーも、終わりに近づきました。私の魂も霊も高められ、今回出席する事が出来た何千人もの聖徒たちを感謝します。また、参加出来なかった人達の為に、お父様、あなたが扉を開いてください。彼らがメッセージを握りしめ、励まされ、慰められますように。

お父様。今朝、どうかあなたがあなたの御言葉をお語りください。そしてそれを用いて、あなたがあなたの民を慰め、高め、励ましてください。

また、お父様。あなたの民が、私達の生きるこの時代を理解するようにしてください。

お父様。感謝します。あなたは、あなたの預言者達、あなたのしもべに明かさずには、何事も行われません。アモス書3:7が、そう伝えています。

お父様。私達は、預言者達が告げた御言葉を掘り下げ、学ぶ事が大好きです。あなたが明かされた全てを見て、それらが、毎日、私達が生きる場所で繰り広げられる様子を、理解していきます。

南アフリカのケープタウンより、また世界中よりあなたに感謝し、あなたを祝福します。

このお祈りを、私達の救い、イエスの御名によっておささげします。アーメン

では、中東時事に入りましょう。現在起こっている事について、お話しします。

イドリブでの軍事行為について、以前お話ししましたが、前回のアップデートでお伝えしたのは、ロシアも、シリア軍も準備が出来ている事、それから、イランの民兵達も準備が出来ている、という事でした。彼らは、すでにこの48時間の間に、軍事行為を始めており、イドリブを攻撃しています。これによって、おびただしい血が流されるでしょう。



Figure 1 世界で禁止されているクラスター爆弾が使用されたイドリブでの、ホワイトヘルメットの働き

その為、昨夜、国連安保理事会が開かれ、今後について、話し合われました。

まさに起こった事でなく、現在の事でもなく、今後の話です。なぜかと言えば、イドリブに居る、6万人のスニ派戦士達が、多数の市民達と一緒に、まずは空爆、その後地上で惨殺される事を、誰もが知っているからです。またしても、ゲータの東部郊外や、ダマスカス、アレッポ、ホムス、ダルアーで起こったのと同じです。反政府勢力がいる町や、本拠地の全てが、まず空爆、それから地上で叩き潰され、文字通り、粉々に砕かれています。

それが、イドリブでも起こる事の一部です。ただ、イドリブと他との違いは、イドリブは、トルコによって支援され完全武装しています。つまり、スニ派の護衛としてトルコが、イドリブ市内の反政府勢力に弾薬や、武器など全てを提供しており、また周囲一帯には、トルコ自身の軍前哨基地があります。なので、これから起こる紛争は、シーア派とスニ派間の紛争でもあるのです。

そこから、今度はロシアに繋がって、昨夜、私が寝る前にツイッターに投稿したのは、——ところで、ツイッターで私をフォローしてください。Behold Israel です。毎日2~3回、ツイッターでアップデートを始めました。フェイスブックやその他よりも、ずっと多くの事をアップデートしています。進行中のニュースです。ツイッターの方が、ずっと早く簡単な事が分かったので、活動をあちらに移す事に決めました。ですから、私のアップデートをご覧になりたい方は、あちらをフォローしてください。

昨夜、私がアップデートしたのは、ロシア通貨のルーブルが、今、暴落しているという事です。

8月初めは、1ドル=63ルーブルだったのが、今すでに69ルーブルで、さらにどんどん下落しています。

つまり、要点は、現在、ロシアは非常に苦しい状況にあるのです。経済は暴落しており、シリアに関わる事で、巨大な負債を抱えました。彼らは、シリア戦争を完全に終わらせたいのです。そうして、戦争の略奪品を楽しみたい。今、彼らには何も出来ません。アメリカが、ユーフラテス川の東岸を支配しており、そこに全ての石油があります。そして国の他の部分は、戦争中。戦争の略奪品を楽しむには、平和が必要なのです。その為に彼らは、どんな事をしてでも、この戦争を終わらせる決意をしています、もし、イ



Figure 2 ロシア・ルーブル (写真は100RUB紙幣)

ドリブが最後の場所であるなら、そこを粉々に砕こうと、彼らはすでに空爆を開始、すでに子ども達も死亡しています。あちらで起こっているのは、文字通り大量殺戮です。

世界もそれを目撃しています。それが、世界中の偽善者達は、この2日間で、すでに多数の人が死んでいるにもかかわらず、皆が、化学兵器攻撃に備えていて、それが起こった時にのみ、彼らは動きます。

ここで、ちょっと考えてみてください。

もし、今、イスラエルがガザに爆弾を落として、子供が6人とか、10人、20人死んだとすれば、直ちに、全世界が「殺人だ」とか「大量殺戮した」とか言いますよ。それが現在、それよりはるかに多くの人々が殺されているのに、皆が沈黙しています。なぜかと言えば、化学兵器が、“まだ”使われていないから、それだけです。フランスが、つい先ほど、化学兵器が使われるなら、自分達が介入すると発表しました。アメリカがすでに「化学兵器が使用されるなら、黙認しない」

と言っていることは、私達も知っています。事実、私達は、化学兵器使用の準備が行われているのを目にしています。

ロシアも、シリアも利口です。そこで彼らがしたのは、すでに、次のようなプロパガンダを発表、彼らが言うには、自分たちは、

「反政府勢力が、アサド政権を非難する為に、化学兵器を使用する事を知っている。」

彼らが前にした事と、全く同じです。

「そしてもし、化学兵器が使われるなら、今警告しておくが、それは、我々の仕業ではない。」

面白くないですか？天才だと思いますよ彼らはいつも言います。

「我々は、そうなると思っていた。」

「我々は、それを警告した。」

「だから、それが起こったからといって、我々を非難するな。我々は、犯人を知っている。」

言っておきますが、誰がそれを行うか、我々はよく知っています。絶対にアサド政権です。

イスラエルは、世界の他の国々と違って、諜報においては、現地特派員がいますから。

シリアには、我々の人間諜報機関があります。あちらで、数々の電話を盗聴しています。

そして、アサド政権の高官達が、空軍司令官達に喋っているのを聴いていますし、特定の場所にいる科学者と話して、飛行機に化学兵器を乗せ、反政府勢力の上に落とす段取りをしているのも、聞いています。これらの情報を、我々はダマスカスと、アレッポでの攻撃の時から持っています。なので、彼らは、他の世を騙すことは出来ても、私達を騙す事は出来ません。それは、我々には通用しません。

これが、現在起こっている事です。

ロシア経済が、暴落しており、彼らのシリアへの投資は、全く回収されません。プーチンは、スンニ派とシーア派の間に挟まれ、両方共が彼を憎んでいます。ロシアは、西側諸国からは、かなり避けられていますし、現在彼は、あまりいい立場ではありません。またロシアの立場が経済的、政治的に悪いというのは、我々にとって、良い事ではありません。なぜかといえば、今、ロシアは、アメリカに対して威嚇しており、巨人の戦いは、常にイスラエルの背後にありますから。

イラクでは、特にシーア派達が住む、南部の地域で、大きな暴動が起っています。

バスラといった場所で、政府の建物が燃やされ、警察がデモ隊を射撃、多数の死者を出し、夜間外出禁止令が出されています。電気が止まり、水がなく、水道から出るのは、非常に毒性の強いもの。農地は死に、絶望感が漂い、政府は、全く機能していません。政府が、イランから距離を置こうとしている為、イランが、イラクをボイコットしていて、明らかに、見捨てられた感が漂っています。

また、イラクには、イスラエルに届くロケットがあるという報告は、間違いで、確かに、イランはイラクにものを密輸していますが、それは、ロケットの部品やエンジンであって、発射台に乗せられ、イスラエルに向けて発射準備が整ったロケットではありません。

イスラエルのネタニヤフ首相及び、国防大臣のリーベルマンが、先週言っています。

「我々は、イランを阻止する事を決意している。それは、シリア国内限定ではない。他の場所でも我々は手段を選ばない」

という事を、はっきりと匂わせています。

その為、イラク政府が、直ちに言ったのです。イラク国内で活動しようなどと、考えるな！イラク人達は、絶望的で、イランは、彼らの事を何とも思っていないが。

イスラエルがあちらで活動する事を、彼らが認めるなんて、とんでもない。しかし、これはいつもの事です。

もう一つ、お伝えしたいのは、イスラエルは、この48時間の間に、新たにシリアで作戦を行いました。アレppoの地域で、攻撃には、2つの手段を使いました。そこには、イランが、精密誘導ミサイルを置いています。これが、我々の最大の問題なのです。大きなロケットは、何でもないので。空中で破壊出来ますから。しかし、まっすぐ標的に誘導する精密装置を彼らが使うと、話は別です。彼らは、ただのロケットを、スマートロケットに変えようとしているのです。古い電話を、スマートフォンに変えるようなもので、機能が、ぐんと良くなるのです。これは、イスラエルが許可しない事の一つです。なので、我々は破壊しました。

この、過去2回のイスラエルによるシリア攻撃を、実はシリアは否定していて、これは、いつもの事ですが、彼らは、電気要因の不具合で爆発が起きたと言っています。これは良い事です。彼らは、我々を非難するなら、自分達は、報復しなければならぬ事を理解していて、しかし、自分達には報復出来ない事を、彼らは分かっています。

もう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、攻撃は、空と海の両方から行われました。F-16を数機、レバノン上空に飛ばしました。面白いのは、シリアでは、我々はシリア上空を飛行しない事で、ロシアと合意しています。が、我々は、あそこで攻撃します。

レバノンでは、我々は、レバノンを攻撃しない事で合意していますが、レバノン上空を飛行可能です。なので、我々はレバノン上空を飛行し、シリアに向けてロケットを発射しました。

また、地中海にある戦艦から、巡航ミサイルを数機使用しました。ですから、興味深い空と海と共同攻撃によって、アレッポ近郊にある、イランの標的をいくつか破壊しました。ほんの2日ほど前でした。

次に、エルサレムにある大使館を閉館して、テルアビブに戻すという、パラグアイの決断について、少しお話しします。皆さんが、理解しておかなければならないのは、パラグアイの政府が、大使館をエルサレムに移動させる決断をした時、パラグアイを統治していた大統領は、新生したクリスチャンでした。彼はまた、イスラエルを祝福するものは祝福される事、そして、彼らは、何が何でも祝福が必要である事を、認識していました。それが、残念ながら、主の祝福というのは、人が望み求め、興味を示した時にのみ、与えられます。しかし、人が自らの選択でそれに興味を示さず、神を選ばない事を決意するなら、神は、私達に選択を任せますから——モーセは、イスラエルの民に言いましたね？

主は言われる。『今日、わたしはあなたの前に悪と善、死といのちを置く。あなたがたは、いのちを選びなさい。』（書記注：申命記 30:19 参照）

これは、選択です。そしてパラグアイの人達が、激しく崩壊した大統領を選んだ直後、彼は、2週間前、カタール政府から賄略を受け取り、そして、パレスチナから圧力をかけられました。その為に、この新しい大統領は、大使館をテルアビブに戻す決断をしたのです。彼は、これは特に大した事ではなく、イスラエルは反応しないと思いました。非常に貧しい南アメリカの国は、大使館をエルサレムに移動する決断をした事で、ものすごく繁栄出来たのに、アラブ界の圧力、そしてカタールと、パレスチナからの賄略とお金、虚しい約束に屈する決断をしました。パレスチナの外務相は、ただ、それを修正するためだけに、はるばるパラグアイまで飛びました。彼は、新しい大統領が選ばれた事を知っており、次の男は、クリスチャンではない事、新生していません事を知っていました。彼には、大使館をエルサレムに移動させるという聖書的な使命がない事を知っていました。その為、彼は、何とか大統領に賄略を渡し、虚しい約束をしました。

イスラエルは、一旦、パラグアイにあるイスラエルの大使館を閉館する事を決定、パラグアイは、中東における大きな味方、彼らに利益をもたらす相手を失いました。彼らは、パレスチナから何の利益が得られますか？パレスチナが、パラグアイの国民に与えられる物とは、一体何ですか？

パレスチナが製造、生産、行っている物とは、何ですか？何もありません。

彼らが生産している物など、1つもありません。

発明したものも、1つもありません、

人類に貢献するものなど、1つもありません。

完全に無です。

ですから、考えてみてください。パラグアイの人達が投票したのは、とんでもない大統領です。私は、彼らがこの結果を見て考えを変えるよう、ただ祈ります。

さて、これについてお話ししました。シリアで起こってる事についても、お話ししました。

イラクで起こっている事も、お話ししました。イラン経済が暴落している事も、お話ししました。ツイッターで報告しましたが、イランの通過リヤルは、12万から、13万9千まで暴落、すでに、1アメリカドルにつき、14万リヤル近くです。

ロシア、イラン、トルコの経済は、同時に暴落しています。

そして彼らはシリアにいて、そこからほんの数マイル離れたイスラエルには、膨大な富がある事を知ったのです。彼らが軍をまとめて攻め込み、物を分捕り、略奪しに来るのも、時間の問題です。皆さんに、思い出しで欲しいと思います。以前にも言いましたが、

地平線に見えている、次の戦争は、経済的な戦争です。戦争の目的は、略奪、経済的利益です。イスラムでもなければ、国としてのイスラエルを消す為でもありません。

パレスチナ問題でもありません。

戦争の略奪が全ての目的です。

それに、付け加えるなら、イスラエルは、繁栄していて、それから、安全安心でなければなりません。安全安心と言え、数日前に統計があつて、

イスラエル人の89%が、安全、安心で、満足だと感じていると答えました。

89%です。国民の89%が、これほど安全安心だと感じ、満足している国が、他にありますか？ユダヤ人は、常に1人に2つ3つはオピニオンがあつて、それが満足となると、これはさらにものすごい事なのです。皆さん、私達は今、その繁栄の中において、嵐の前の静けさの中に居るのです。間違いなく確実に、我々は、滅びない世代です。

カリフォルニア州のタスティンでお話しする予定ですが、確か、今日からちょうど9日後です。メッセージタイトルは、

「滅びない世代」

そこで、マタイ24章に書かれている世代とは誰なのか、詳細を説明します。

これらが起こるまで滅びない世代とは、誰なのか？

マタイ24章でイエスが言われた全ての兆候を生きて目撃する世代とは、誰なのか？

その世代とは誰か？

それについて、お話しします。私達は、信じられないような時代に生きています。

ここから、このアップデートの後半に繋がるわけですが、つまり、今日から数日後に始まる例祭についてです。日曜日、イスラエルは、ラツパの祭りを祝います。

レビ記23章には、主がイスラエルに祝うよう命じられた、全ての7つの例祭について書かれています。その全ては、出エジプトとその後にイスラエルに起こった事の、歴史的記述で、その全ては、神の誠実を覚える為、それと、これから起こる事の、大きな兆しです。

7つの例祭の内4つは、イエスの時に成就されました。

- ① 種なしのパンの祭り、
- ② 過越の祭、
- ③ 初穂の祭り、
- ④ 五旬祭、

この4つ全てが、主の時代、約40日間で成就しました。

エルサレム入城、十字架刑、そして復活、昇天、聖霊降臨。

今、私達は、秋の例祭に向けて備えをしています。後半の3つです。

これが、すごいことに、ダニエルが69週目と70週目の違いを明確にただけでなく、聖書的にも、春と秋の例祭の違いは、明確に記載されています。

つまり、その期間が教会の時代で、異邦人の時代です。そして今、私達はその時代を生きています。面白いのが、レビ記 23 章を読むと、7つの例祭の全てが書かれています。そしてそれぞれの例祭ごとに、少なくとも5~7節と、結構な量で説明がなされています。そして最短のものが、23~25節のラッパの祭りです。短く、さっと起こるもの。そして、とても控えめなものです。読んでみます。

23 ついで主はモーセに告げて仰せられた。

24 「イスラエル人に告げて言え。

第七月の第一日は…

7は、完成数です。第一日目…通常、私たちには、月の第一日目というのはありません。普通は、過越でさえ、十日目に子羊を取り、十四日目に祝います。これは、第七の月の第一日目です。何かが完成されます。それから、こうあります。

あなたがたの全き休みの日、…

わお！私たちは、ようやく休みます。それから、

ラッパを吹き鳴らして記念する聖なる会合である。

(レビ記 23:23~24)

私はいつも言うのですが、携挙は、初めて世界中から全クリスチャンが集まる、大カンファレンスです。天国で・・・と言うより、空中で。聖なる会合である。

25 **どんな労働の仕事もしてはならない。火によるささげ物を主にささげなさい。」**

(レビ記 23:25)

面白いですね？

主が、イスラエル人に言われるのです。この3千年間以上、彼らは24時間召集されて、そして火による捧げ物をささげ、聖なる集会を開き、ラッパを鳴らしてそれから彼らは家に帰ったのです。彼らは、文字通り、全くその理由を理解していませんでした。考えて見れば、過越し祭は、過越の子羊を思い起こします。初穂の祭は、我々が故国に入った時にした事を思い起こします。我々は、初穂を神殿に捧げました。ペンテコステは、律法が与えられた時、種無しのパンの祭は、我々が荒野で食べたものを思い出す為。全てが、何らかの形で出エジプトを彷彿させるもので、ユダヤ人達は、はっきりとその行動の意味を理解して行っていました。覚えておく為です。

しかしこれは、唯一、なぜ祝っているのか、彼らには、さっぱり理解できなかった祭です。

さらに加えて言うなら、私から見れば、恐らくこれは、特定の例祭の日には成就され得ず、されない、唯一の祭だと思えます。

なぜか？

いいですか？他の例祭は全て、イスラエルが中心です。イスラエルが全て。

エジプトからの脱出は、イスラエルでした。

それから、律法が与えられたところまで、あれも、イスラエルでした。

そして贖罪の日は、イスラエルの悔い改め、

仮庵の祭は、イエスがイスラエルのエルサレムで統治されます。

全て、イスラエルが中心です。

唯一、イスラエルの為でなく、イスラエルに関係のない出来事、

そして、世界中全ての場所で同時に起こるのは、つまりそれは、イスラエルでは今日であっても、別の場所ではその翌日、また別の場所ではその前日だとう意味です。

一方ではハワイ、他方ではニュージーランド、何かが起こった時、各地で日にちが異なるのです。その日に起こる事があり得ない、そして起こらないのは、当然、ラツパの祭です。

また、多くの人が、少々混乱しているのが、聖書には、第一テサロニケ4章と、第一コリント15章の両方に、ラツパについて伝えられていますが、これは、終わりのラツパです。

これはつまり、主はすでにラツパを鳴らし始めておられるという意味です。それはつまり、唯一、最後のラツパの時に、我々は取り去られ、私達はここを出て行くという意味です。

ラツパは、人の注目をひくという観点から、何か大事な事が起こるか、誰か大事な人が来る事を意味します。主は、モーセに銀のラツパを2つ作るよう、命じられました。

銀は完璧ではないが、尊く、2つというのは、神がいるという事を証明するために、証人として神が使っておられる集団は、地球上で2つだけだと私は信じています。

イザヤ書では、主がイスラエル人に、あなたはわたしの証人だ、と言っておられ、

使徒の働きでは、信者が神の証人となるように、命じられています。

だから私は、教会とイスラエルが、この地上での、神の証人だと信じています。

大患難時代でさえ、2人の証人がいます。だから、今も、後にも、2つの証人がいます。

ただ面白いのは、唯一、1948年以降、イスラエルが故国に戻り、教会と共存しているのです。

教会が存在していた時、イスラエルは遠くに分散されていて、国土、首都、主権を持つ国ではありませんでした。

その前、彼らが国土、主権独立国家を持っていた時は、教会が存在していませんでした。

唯一、1948年以降、驚くべき現実、私達が共に存在するのを目にしています。

ですから私は、主が1948年からラツパを鳴らし始めておられると信じています。

そして1967年。今でさえ、エルサレムが場面に再び登場し、イスラエルの国家法には、我々がエルサレムとイスラエルの所有者である事が、法制化されています。

ここは、ユダヤ人の故国であり、ヘブル語がこの国の国語、その全てから、これが、世界の注目を集めるため、信者の注目を集めるために、吹き鳴らされているラツパだと、私は信じます。

そして、最後のラツパが鳴る時、最後のラツパは、天でしか聞かれないと、私は信じています。聖書には、

「天で」と書かれていて、地上ではありません。
 また、私達は、イエスの再臨と混同しないよう、注意しなければいけません。
 イエスが戻って来られるのを、全世界が見ます。
 イエスは、花嫁を伴って戻って来られます。
 反対に、私達は、何も見ません。私達は、姿を消すのです。
 私達は、空中の雲の中で彼にお会いしますから。
 ですから皆さん、まるで、ラッパの祭の日に携挙が起こるかのように、構えてはいけません。毎日、携挙が起こり得るのです。一日一日が、その日になり得ます。
 だから、備えをしてください。備えましょう。
 もしかしたら、今日起こるかも知れません。今、この瞬間にも起こり得ます。
 つまり要点は、こうです。ユダヤ人達は、日曜日にラッパの祭を祝いますが、毎年彼らが行なっている通り、第七の月の第一日目です。ところで、これは、ロシュ・ハシャナと呼ばれ、年頭を意味します。この日は、第七の月の第一日目ですが、ユダヤ人は、この日を一年の初めとしています。私達は、重々注意しなければなりません。聖書的には、この日は年頭ではありません。第七の月です。
 セケ月の周期の終わりです。なぜこんな事を言うかといえば、
 聖書には、ローマ書 13 章に、

12 夜はふけて、昼が近づきました。…

(ローマ 13:12a)

とあります。私は、教会時代の終わりに来ていると信じています。
 私達が、この地球上にいる時間が終わりに来ている、私達がここにいる間に、神がされるべき事が、もう終わりに来ていると思います。イエスは、ヨハネの福音書で言われました。

15 (父よ。)彼らをこの世から取り去ってくださるようというのではなく、悪い者から守ってくださるようお願いします。

(ヨハネ 17:15)

だから私達は、定められた時まで、ここに止まるように決められているのです。
 彼が来て、私達を取り去ってくださる時まで。ここにいる私達は、滅びない世代だと、私は信じています。
 9月16日日曜の朝カルバリーチャペル・タスティンで、さらに詳細をお話ししますので、
 ぜひご参加下さい。
 朝の礼拝と、それから夜は、Q&Aを行いますので、カリフォルニアの方は、カルバリーチャペルタスティンに、お越しください。
 これが、ラッパの祭に関する私の理解です。イスラエルに戻って祝うのが楽しみです。
 しかし、私にとっては、主が花嫁を迎えに来られる日を思ってワクワクするのと、ヘブル歴の特定の日は、一切関係ありません。これは、日々関わる事で、私達は、これらの全てを生きて目撃している世代です。私は、そう信じています。
 私は、私達がイスラエルの肉体的な贖いを目撃する世代だと信じています。
 そして私達がイスラエルの霊的回復を見るのは、唯一、私達が、イエスと一緒に戻って来た時、そして彼らは、

言います。

「祝福あれ。主の御名によって来られる方に。」

という事で皆さん、南アフリカのケープタウンより、素晴らしいミニストリーツアーの時間でした。文字通り、400人から900人まで教会がいっぱいでした。ここはアメリカと違って、小さな教会ですよ。しかしとても敬虔なクリスチャン達が、御言葉と、世で起こっている情報に飢えていました。とても安全で、安心出来ましたし、行く先々で温かく迎えていただきました。そのことを、聖徒の皆さん感謝します。

もう一つ、お伝えしたいのは、現在私は、ツイッターで頻繁にアップデートしています。恐らく1日に4~5回は行っていると思います。フェイスブックや、ユーチューブでは出来ない事で、ですから、アップデートを見たい方は、ツイッターで、Behold Israel をフォローしてください。そこで継続中の報告をご覧頂けます。これから1週間ほどの間に、カナダのカンファレンスの会場について発表出来ると思います。どうぞお祈りください。出来る限り低料金で、出来る限り大勢をお迎え出来るようにしたいと思っていますから。その為に、現在、会場の最終手続きを行っています。

日程は2018年11月10日、トロント地域で変わりありません。最終的な会場については、決定次第おしらせします。ですのでそれに関しては、もう少しお待ちください。

それから、「Bible Bites/ひとくち聖書」を、まだフォローしていない方は、——これは、素晴らしい伝道ツールであるだけでなく、ひとくちサイズの聖書の真理で、今後、Bible Bites ディボーションの配信を始めます。ですから、ただ聴くだけでなく、御言葉を見て、さらに理解を深めます。私と、Barry Stagner 牧師とで、ニュースレターのようなフォーマットを作成中です。ニュースレターは、もうありますから、ディボーションをインターネットで受信したい方は、ニュースレターを登録してください。



ディボーション配信スタート！

ウェブサイト、beholdisrael.org より、ニュースレターをご登録ください。週に一度、Bible Bites を基にした、素晴らしいディボーションをお届けします。

という事で、皆さんありがとうございます。時事問題についてお話しして、中東で起こっている事、パラグアイにある大使館について、お話ししました。エルサレムにあるパラグアイの大使館がテルアビブに戻る事につ

ヴェイシエメレハー	アドナイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

いて、そして、ラツパの祭についても、お話ししました。

ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	ヤーエール
וַיַּחַן	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יָאֵר
..(主が)あなたを思われますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

では、アロンの祈りで終わります。

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	イッサー
שְׁלוֹם	לָךְ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るよう	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

24 主があなたを祝福し、あなたを守られま

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナイ ヴェイシエメレハー
 ヤーエール アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー
 イッサー アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

すように。

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

シャローム。あらゆる理解を超える平安、平和の主である、平和の君だけが与えられる平安が、今よりとこしえに、ここでもどこでも与えられますように。

このお祈りを、私達の救い、王の王、主の主、平和の君、イエシュア、イエスの御名によって祈ります。

アーメン

アーメン！

ありがとうございました。God bless you!

私のいる場所を、もう一度お見せしましょう。後ろに見えるのは、ケープタウンのテーブルマウンテンです。どうぞ私達のために、続けてお祈りください。

それから、カリフォルニア在住の皆さんは、約 10 日後にお会いしましょう。

ありがとうございます。

南アフリカのケープタウンより、God Bless You!そしてシャローム！

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

テーブルマウンテンを背景に：動画より

世界で禁止されているクラスター爆弾が使用されたイドリブでの、ホワイトヘルメットの働き：Twitter White Helmets 「政権軍によって行われたクラスター爆弾による爆撃は、Heash の町の民間人の家々をターゲットにし、子ども 2 人が負傷した。ホワイトヘルメットチームは、負傷者の救助と、クラスター爆弾の残骸を撤去するために働いた。#シリア#イドリブ」 2018/9/5

ロシア・ルーブル：Wikipedia「ロシア・ルーブル」

ディポジション配信スタート！：ニュースレターより